

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

平成30年 **6月16日(土)**

時間：**13:30～16:00**

会場：**福井県社会福祉センター（福井市光陽2-3-22）**



講師：臨床心理士 臨床発達心理士

千崎 愛 氏

テーマ：「先走り行動をチェックしよう！」

～先走り行動に気付いて、親子関係に変化をもたらせましょう～

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名（事前にサポステふくいまで申し込み下さい）

【講師紹介】

自治体の相談窓口を中心に、心の専門家として悩みを抱えている方へのカウンセリングに携わり、スクールカウンセラーや病院の小児科外来などで子どもの育ちを支援する活動にも力を注いでいます。



4月開催のセミナーレポート

日時：平成30年4月21日(土)

テーマ：「“堂々巡り”はどの様に起きているの？」

講師：前敦賀短期大学教授 龍谿 乗峰 氏

先生は、まず働くことを例に、親の期待と不安の態度が本人の気持ちに何らかの作用し、本人に焦燥感と不安を生じさせるというジレンマの構図と、心身の混乱が身体症状に現れる“疾病利得”により、本人と周囲とが共依存に陥ることで起きる悪循環を挙げ、その“堂々巡り”のメカニズムを説明されました。

“堂々巡り”の解決の一例として、実際に先生が関わった事例を話されました。ある青年の家族に対する訴えを介在法という方法で、人形を使って形に表すことで、本人が思う問題点を整理しました。彼は食卓を巡り、家族の想いの方向性がバラバラで、それぞれが、その違和感を態度で訴えているのだと説明されました。先生は「どうなることが望ましいか」を問いかけると、食卓の人形の席順を直し、本人の“望ましい家族像”を表しました。その後、母親を交えた面談から、先生は父親の態度と想いに考えを巡らせ、本人に「あなたから見て、反面教師に見える父親の言動は、子の将来を想い、あえて厳しい態度をとっており、あなたはその意図したとおりの考えを持っているのではないか」と伝えました。そのメッセージが間接的に父に伝わると、面談の場に父も現れ、その後、家族関係が改善し、本人が望んでいた“当たり前の家族”になったそうです。

先生は、この家族の状況を振り返り、1対1だと見えないことがあり、アシスト（介在）されることで、はっきりすることがあるといいます。“堂々巡り”の関係を紐解いた今回のお話から、皆さん、感じ入ることがあったようでした。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション（サポステふくい）

福井市光陽2丁目3-22 TEL：0776-21-0311

（受付時間 月～金 9:00～17:00） E-mail: info@fukui-yss.com